

プログラム責任者より ～関川泰隆医師～

(川崎協同病院副院長 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医)

総合診療医に求められる能力とは何でしょうか？

勿論、疾病の種類や臓器の粹にとられない、幅広い知識や技能は欠かせません。しかしそれだけで十分とはいえません。健康問題をより大きな視野でとらえ、心や生活、背景にある労働や経済、さらには、患者を取り巻く家庭・地域・社会のありようにも目配りできる、人としての総合性こそが求められています。私たちが目指すのは、幅広い眼と心を持った医療人です。

病院だけでなく、地域医療の最前線である診療所や施設、在宅など、地域全体が研修のフィールドです。また、豊富な経験と熱意を持った指導医の他、全科の医師やスタッフ、先輩や患者さんまでもが、研修を支えます。

既に、数多くの優れた総合診療医が巣立ち、様々な分野で活躍しています。総合力豊かな臨床医としての研鑽を志す方であれば、病院・診療所・在宅等問わず、どんな将来像を描いている医師も歓迎です。神奈川の地で、共に地域医療を実践し、総合診療医としての歩みを進めましょう。



指導医より ～西村真紀医師～

(あさお診療所所長 日本プライマリ・ケア連合学会理事・認定指導医)

総合診療医が家庭医療の理論を知っていることは病棟でも外来でも大変役立ちます。このプログラムでは診療所研修で家庭医療専門医等のプライマリ・ケアに精通した指導医のもと家庭医療の実践と理論を学びます。家庭医療とは、「臓器、年齢にかかわらず患者と患者の家族すべての健康問題に関わる医療」です。また家庭医のいる診療所はmedical homeとい

ってわかりつけとしている人々が病気や健康についてまず相談しに来るところ、そして最後のよりどころとなる場所です。家庭医療は病気を診るだけでなく個人や家族、地域の健康増進、予防も行います。家庭医療は医師だけでは成り立たずスタッフ、地域の医療関係者、家族、地域の人々の力を必要としています。診療所研修ではチーム医療、病診連携、医療と介護の融合を経験できます。そしてもっとも大切なのは人が病むとは？老いるとは？死ぬとは？健康とは？生きるとは？それらの多様性に出会い、複雑な問題に立ち向かうプロフェッショナリズムを身に着けることができるでしょう。



福利厚生

- 待遇 常勤職員（各種社会保険・共済完備）
- 給与 ￥403,000 ※初年度の月額
（住宅手当・家族手当別途）
当直手当 ￥31,000～（1回当たり）
- 賞与 年2回（夏・冬）
- 休暇 4週6休制
年次有給休暇 10日間
（初年度、2ヶ月の試用期間後に付与）
夏季休暇 5日間、年末年始休暇 6日間

ママDr も安心!!

- 院内保育園有
- 病児保育も可
- 日当直免除可
- 時短勤務制有



たけのご保育園（院内保育）の様子

募集要項

- 募集定員 3名（単年度あたりの定員）
- 申込資格 初期臨床研修を修了した者
もしくは翌春修了を予定している者
- 必要書類 医師免許証・履歴書
初期研修修了証明書（修了者のみ）
- 病院見学 随時（下記まで見学申込のご連絡を下さい。）

- お問い合わせ・お申し込み -

川崎協同病院 医局事務室

担当：星野 国分 伊東

〒210-0833 川崎市川崎区桜本2-1-5

TEL：044-277-9633 FAX：044-277-9634

E-mail：kensyuui@kawaikyo.or.jp

2015年度より始動!

ジェネラリスト 養成プログラム かながわ

～川崎医療生協 家庭医療/総合診療複合プログラム～



↑↑ホームページはこちらから↑↑



川崎医療生活協同組合
川崎協同病院



川崎協同病院後期研修目標

1. 主治医として求められる総合性を基に専門性を身につける
2. 生涯を通じて学習・成長を目指す姿勢を身につける
3. チーム医療におけるリーダーとしての資質を養っていく
4. 医師としての社会における役割を自覚し、行動できる
5. 後継者育成を通して自己の研鑽を行っていく

プログラムの特徴

1. 外来を継続できる

研修ローテートで研修科が変わっても継続して外来診療枠を継続します。

2. 病院の枠を超えた地域での研修

川崎医療生活協同組合は、川崎市に約5万世帯の組合員を有し、病院、診療所、歯科診療所、訪問看護 St に加え、地域包括支援センター、老健施設などの介護事業所も運営しています(右図)。幅広いフィールドで、地域包括ケアの本質を学びます。

3. 総合医局・多職種での教育

川崎協同病院は1つの医局に全医師が所属しており、各科の垣根なく指導を受けることができます。また、看護師など多職種が研修医教育に携わる文化が浸透しています。

4. 患者さんの生活背景まで診る全人的医療

プログラムの中心研修施設である川崎協同病院は京浜工業地帯に近接する医療機関です。この地域は社会的または経済的な困難を抱える方が多く、指導医はそうした背景の中で診療を行っています。この環境で学ぶことで、研修医は医学知識・技術のみに留まらない全人的医療を学べます。

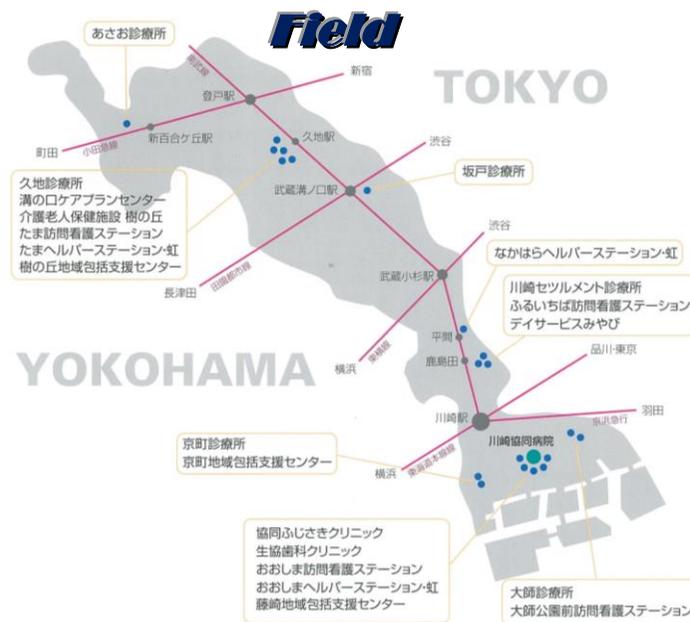
5. 医療生協組合員と作り上げる研修

地域の患者さんである医療生協組合員と共に参加型で進めるヘルスプロモーション活動が充実しています。研修医は組合員活動の1つである班会に定期参加し、継続的に地域住民と交流して健康づくりを共に進める貴重な機会が得られます。

Schedule (Year)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1st	内科						小児科			救急科		
2nd	総合診療Ⅱ (有床病院)						総合診療Ⅰ (無床診療所)					
3rd	総合診療Ⅱ (有床病院)						選択					
	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇or◆	◇or◆	◇or◆	◇or◆	◇or◆	◇or◆

※ ブロック選択は一般外科、整形外科、婦人科 兼任選択は皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科が可
 ※ ◇は病院外来(門前診療所) ◆は診療所外来 ○は小児科外来



評価方法

1. ログをつけて毎月振り返り

患者ログを用いて指導医と一緒に振り返り、経験症例に偏りが無いかチェックします。

3. SPによる医療面接を用いたフィードバック

川崎医療生協かわさき模擬患者の会の SP による模擬面談を通して医療面接へのフィードバックも行います。外来のみならず、様々なシーンのシナリオを用意し、総合的な患者対応をチェックします。

実績

■ 小児科/内科複合研修

現在、小児科研修中の能城医師は“大人も診られる小児科医”を目指しています。シニア1年目は内科に属しながら、小児科外来を、2年目以降は小児科に属しながら、内科外来を継続しています。内科研修中は内科学会認定内科医を取



能城一矢医師



得し、現在は小児科学会専門医を目指して研修を行っています。

2. 後期研修管理会議でのフィードバック

3ヶ月毎に開催し、指導医のみならず、コメディカルや地域の患者さんの代表も参加して360度の評価を行います。

4. ポートフォリオを用いた形成的評価

家庭医療専門医取得のためのポートフォリオの完成をもって研修修了認定を行います。

3ヶ月毎のフィードバックでもポートフォリオを用いて形成的評価を行います。